

今月の山柳



野も山も美しい若葉に覆われ、新緑が目にしみる爽やかな季節となりました。
生気みなぎる新緑に、老いも元気を貰います。
五月晴れ老いの電池も動き出す
八女川柳会 安達 昇

今月の色

せきちくいろ
石竹色

撫子の花のような色。石竹は中国原産。日本の大和撫子に対して唐撫子ともいいます。

視覚デザイン研究所
「和の色のものがたり」より

八女茶で健康 第45回

第36回福岡県八女茶手もみ競技大会の開催

この競技大会は、県手揉み技術研究会（大石重信会長）と県茶業青年の会（田中将大会長）の共催で（事務局：県筑後農林事務所八女普及指導センター）、JAふくおか八女の支援を受け、平成31年4月5日（金）に八女市担い手研修センター（八女市立花町谷川）で開催されました。目的は、八女茶生産技術の中でも難しい製茶技術の研鑽です。



新茶生葉は、広川町の山崎健太郎さんが、「さえみどり」という品種で2月下旬から防寒対策等の茶園管理をされて作られました。

競技は、3名1チームで競われ、八女市、筑後市、黒木町等から6チームが出場されました。

蒸した茶生葉を人間の両手だけで針のように揉み上げることは至難の業で豊富な経験が必要です。柔らかい茶生葉を固い針のようにするための作業工程に、「葉ぶるい」、「軽回転」、「重回転」、「揉み切り」、「でんぐり」、「こくり」等の工程があり、4時間かけて、それぞれに異なった揉み方をします。

団体優勝は、黒木チーム（徳永慎太郎氏、柴垣智成氏、林田和広氏）で、優勝チームには、県知事賞が授与されます。個人優勝は八女市黒木町の徳永慎太郎氏で県議会議長賞が授与されます。

出来上がった手もみの新茶は、4月16日の新茶初入札に上場され、1kg当たり10万円で落札されました。手もみ競技は、全国大会も開催されており、昨年は、八女市で開催されました。

上手に手揉みするためには、かなり熟練が必要ですが、一般の方を対象とした気軽に手揉みを楽しむコーナーもありますので、来年の大会に参加希望される方は八女普及指導センター特産係、県茶連事務局にお尋ねください。

福岡県茶生産組合連合会事務局長 仁田原 寿一

野鳥ウォッチング ④

アオサギ



サギ類では最も大きく、川、湖沼、水田などで魚やカエルなどをとらえて食べます。

巣は集団で枝の上につくり、首を曲げてゆったりと羽ばたいて飛びます。

矢部村 栗原 浩暢



筑後市熊野
東 聖二



芸文館で月二回、水彩画を学んでいます。
丁寧な描写した作品に取り組んできましたが、今後は色使いなどを工夫しながら遊んだ作品にも挑戦していきたいと思っています。

教師道

⑭

森下 計二

子どもたちの能力は、みんなそれぞれです。とつても早く理解したり、おぼえたり、できたりする子もいれば、逆に長い時間をかけないとそうはならない子もいます。学校というところは、そういうさまざまな能力や、個性の多様な子どもたちの集団です。

みんな同じに、差別がなくなるこれが大事という人もいます。「全員百点」とか「オール5評価」なんて主張する教師もいたほどです。運動会のかけつこで、「みんなで手をつないでゴール」とか、学芸会の劇で、「全員主役」にするとかいう話は、いくらでもあります。
子どもたちの優越感や劣等感がそ

の可能性の芽を摘んでしまうというのがそうしたことへの正当化です。できないことや、主役になれないことを「かわいそうだ」という教師や親たちの理屈です。
私は、むしろ逆に考えました。できたりできなかったり、速かったりおそかったり、上手だったり下手だったり。さまざまな個性があつてこそ人間の集団で、そこには競争もあれば、差異もできます。くやしい涙をみるのも大事だと思えます。
一つのことのできないからといって、すぐにあきらめる子にはできない、と。

◆新元号(令和)詐欺に注意!!◆

平成が終わり、今年5月1日から新元号「令和」が始まります。
しかし先日、新元号を利用した悪質な詐欺が発生しました。

そこで、新元号詐欺の手口と対策について、お知らせします。

- 《手口》
- ・元号の変更に伴い、キャッシュカードが使えなくなるため、キャッシュカードを預かる。
 - ・過払いの保険金が返還されるが、元号が変わるため、早急に手続きが必要。

など、様々な方法を用い、お金を騙し取ろうとする。

- 《対策》
- 詐欺師は、警察官や銀行員、大手企業の職員を騙って電話やメールをします。
 - このような電話やメールが来た場合は、安易に信用することなく、

- ★すぐに電話を切る。
- ★相手が教示した電話番号ではなく、自分で調べた番号にかけなおす。
- ～怪しい電話やメールが来た場合は、必ず周囲や警察に相談しましょう～

